



環境経営レポート 2024

【活動期間】 2024年1月1日～2024年12月31日
【レポート発行期日】 2025年5月15日

明るい職場・無事故・無災害を考える

株式会社山村電設工業

〒879-7125 大分県豊後大野市三重町内田3205番地1

目 次

■ 組織の概要・対象範囲、レポート対象期間	2
■ 環境経営方針	3
■ 環境経営管理システム実施体制図	4
■ 環境経営目標	5
■ 令和6年の実績と基準年、及び評価	6
■ 環境経営計画の取組結果、及び今後の取組内容	7～13
■ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	14
■ 全体の評価と見直し記録	15
■ 代表者による総評	16
■ 環境経営レポートの公表	17

組織の概要

1, 名称及び代表者名

株式会社 山村電設工業
代表取締役 山 村 清 隆

2, 所在地 (本社・倉庫・駐車場)

大分県豊後大野市三重町内田3205番地1(本社)
TEL (0974)22-0214
FAX (0974)22-3917

3, 環境管理責任者及び担当者

《環境管理責任者》 営業・総務・設備担当課長
《環境事務局》 総務 事務担当

4, 設立年月日

昭和25年4月1日

5, 資本金

25,000,000円

6, 会計年度

2023年6月1日～2024年5月31日

7, 建設業許可

★大分県知事許可 (特定)28 第1831号

電気工事業・管工事業

★大分県知事許可 (一般)28 第1831号

・建築工事業・土木工事業・消防施設工事業・土工工事業・ほ装工事業

・電気通信工事業・水道施設工事業・塗装工事業

8, 大分県格付け

電気工事 特A級 管工事 特A級

9, 事業内容

・施設の電気設備工事 ・管設備工事 ・空調設備工事 ・機械設備工事 ・施設の消防点検
・指定管理施設の運営 ・太陽光発電システムの施工 ・合併浄化槽の設置



対象範囲、レポート対象期間

1, 認証・登録範囲

株式会社山村電設工業の全組織全活動を対象とします。

2, 環境経営レポートの対象期間

《2024年 活動期間》2024年1月1日～2024年12月31日

環境経営方針

【基本理念】

株式会社山村電設工業は、電気設備工事・機械設備工事の設計、施工を業務とし、高品質な施工を旨として、お客様の満足と信頼を得るとともに、豊かな自然を次世代に引き継ぐため、環境に配慮した設計、施工の推進により地球温暖化防止や資源枯渇の防止、地球環境の保全に配慮して、社員一人ひとりが自主的に地球環境保全活動に取り組み豊かな自然と安全で住みやすい社会の構築を目指します。

【環境経営方針】

〈1〉 具体的に以下のことに取り組みます。

- ① 環境関連法規及び条例等を遵守します。
- ② 事務所及び建設現場で使用する電気・燃料使用量を削減し、CO2排出量削減に努力します。
- ③ 建設工事・事務所の省資源廃棄物の3R「リデュース=資源の抑制(Reduce)・リユース=再利用(Reuse)・リサイクル=再資源化(Recycle)」を推進し、廃棄物の削減に取り組みます。
- ④ 省エネ商品の提案及び環境に配慮した製品の情報を常に収集し、積極的に啓発及び提供します。
- ⑤ 事務所及び建設現場において節水に努めます。
- ⑥ 地域・社会貢献活動に積極的に取り組みます。

〈2〉 環境経営方針を全社員に周知し、積極的に取り組みます。

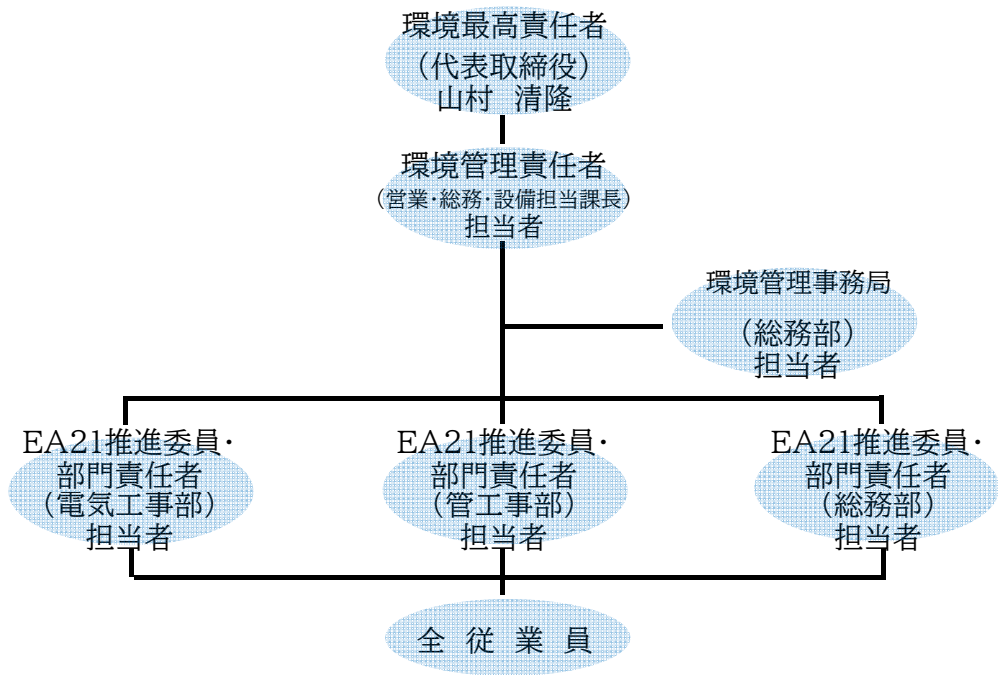
〈3〉 環境経営方針に基づき、環境目標・活動計画を作成し、定期的に見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。

制定日:2017年2月1日

株式会社 山村電設工業

代表取締役 山村 清隆

環境経営システム実施体制図



名 称	役割・責任・権限
環境最高責任者	環境経営に関する統括責任 環境管理責任者の任命 環境経営システムに必要な資源(人材・物品・資金)の準備 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 EA21関連の計画・目標等の評価・見直し及び承認 環境経営レポートの確認・承認 緊急時の統括
環境管理責任者	EA21の構築・実施・管理・確認 EA21の教育・訓練計画の立案及び実施責任者 EA21関連書類の承認・確認 EA21の取組結果を代表者へ報告 緊急時の想定・訓練 環境関連法規の取りまとめ表を承認 問題点の是正及び予防措置の対策指導
環境管理事務局	環境管理責任者の補佐・EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績の集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成・公開(地域事務局への送付)
EA21推進委員	環境活動計画の審議 環境活動実績の確認 自部門における環境方針の周知 自部門の社員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門の問題点の発見・是正・予防処置 自部門の特定された緊急事態への対応
従業員	エコアクション21の理解 環境関係法規及び条例を遵守し、自主的且つ積極的に環境活動に参加

環境経営目標（中長期目標）

- ★ 基準年から長期目標(対象期間/令和5年～令和7年)を設定。年毎に△0.5%の減少を目標にして目指します！
- ★ 前回まで省エネ商品・環境配慮商品等の記載をしておりましたが、2022年よりガソリン車から電気自動車へのシフトを重要目標としカーボンニュートラルや環境に配慮した活動を目指します。

C02係数=九電2022年度
0.402kg-CO2/kWh
(調整後排出係数)

【対象期間は、前年1年間 1月～12月】

環境方針の番号	選択課題		対象	基準値 (R2-R4の売上高平均) 1,172百万円	基準年 (R2-R4の実績平均値)		R5年度 目標値 基準年度比	R6年 目標値 基準年度比	R7年度 目標値 基準年度比
1	二酸化炭素排出量		全体	79 kg-CO2/ 百万円	92,560 kg-CO2	→	91,634 (△2.5%)	91,172 (△1.5%)	90,709 (△2%)
	1-1	電力消費量	事務所	17.25 kWh/百万円	20,212 kWh	→	20,010 (△1.0%)	19,908 (△1.5%)	19,807 (△2%)
	1-2	ガソリン燃費	現場	21.73 リットル/百万円	25,473 リットル	→	25,218 (△1.0%)	25,091 (△1.5%)	24,964 (△2%)
	1-3	軽油燃費	現場	7.89 リットル/百万円	9,244 リットル	→	9,151 (△1.0%)	9,105 (△1.5%)	9,059 (△2%)
	1-4	灯油燃費	現場	0.09 リットル/百万円	110.7 リットル	→	109.6 (△1.0%)	109.0 (△1.5%)	108.5 (△2%)
2	廃棄物排出量		現場		216.03 ton	→	214.9 (△0.5%)	213.9 (△1.0%)	212.8 (△1.5%)
	一般廃棄物		事務所	少量の為、記載なし		→	通年、リサイクルを徹底し少量の為記載なし		
3	水使用量		事務所		393 m³	→	391 (△0.5%)	389.1 (△1.0%)	387 (△1.5%)
4	カーボンニュートラル実現 (電気自動車へのシフト) ※作業車両18台中※		現場		1 台	→	2 台	3 台	4 台
5	社会貢献活動 (清掃活動実施回数) ※40件以上※		全体		40 件	→	40 件	40 件	40 件

※ 一般廃棄物(事務所内)は、日常的にリサイクルを徹底し通年少量のため、数値としては記載していません。
(段ボール・瓶・缶・ペットボトル・雑誌・ミスコピー紙・発泡スチロール類全てリサイクル)

※ 今まで単年度を基準値としてきましたが、その場合各数値の変動が大きい為 今回より過去3年間(R2年～R4年)の実績の平均値を基準として目標値を出すよう修正、それに伴い基準の対象期間は年度から年へ変更しました。

令和6年の実績と基準年との比較

【対象期間は、前年(令和6年) 1月～12月】

環境方針の番号	選択課題		対象	主な取り組み内容	SDGsとの紐付け	R6年 目標値	R6年 実績	評価	点数
						基準年度比			
1	CO2排出量		全体		 	91,172 (△1.5%)	84,061 kg-CO2	○ 108%	○ 2点
	二酸化炭素排出量	電気消費量	事務所	・昼休み、不在時の消灯 ・長時間不使用時のPC、モニター電源を落とす ・室温計を設置し不快指数が表示されてからエアコンON 設定温度夏27℃ 冬20℃ ・ブラインドを活用し、遮光・熱の出入を調整	 	19,908 (△1.5%)	22,033 kWh	△ 90%	△ 1点
		ガソリン燃費	現場	・エコドライブ等、運転方法の配慮を励行 ・同じ現場には、出来るだけ相乗り		25,091 (△1.5%)	21,635 リットル	○ 116%	○ 2点
		軽油燃費	現場	・定期点検を確実に実施 (隔週月曜に一度) ・高燃費、低排出ガス車への移行	 	9,105 (△1.5%)	9,089 リットル	○ 100%	○ 2点
		灯油燃費	現場	・必要な時に、必要な燃料を把握してから購入(ストーブ利用)		109 (△1.5%)	96 リットル	○ 114%	○ 2点
2	廃棄物排出量		現場	・現場で発生した廃棄物のリサイクルを徹底 ・書き損じ紙の裏面利用、およびリサイクル (事務所内の一般廃棄物はリサイクル徹底)		213.9 (△1.0%)	94 ton	○ 226%	○ 2点
3	水使用量		事務所	・節水掲示板を蛇口側に掲示 ・洗車時はJETを使用		389.1 (△1.0%)	412 ㎡	△ 94%	△ 1点
4	カーボンニュートラル実現		現場	・電気自動車へのシフト (現状ガソリン車18台を徐々にEV車へ)	 	3 台	3 台	○ 100%	○ 2点
5	社会貢献活動		全体	・地域や現場付近での清掃及び挨拶 (年間40件以上を目標)	 	40 件	40 件	○ 100%	○ 2点

C02係数＝
九電2022年度
0.462kg-CO2/kWh
(調整後排出係数)

R6年 実績	評価	点数
84,061 kg-CO2	○ 108%	○ 2点
22,033 kWh	△ 90%	△ 1点
21,635 リットル	○ 116%	○ 2点
9,089 リットル	○ 100%	○ 2点
96 リットル	○ 114%	○ 2点
94 ton	○ 226%	○ 2点
412 ㎡	△ 94%	△ 1点
3 台	○ 100%	○ 2点
40 件	○ 100%	○ 2点

※評価について※

○達成2点(100%以上)、△不十分1点(86%～99%)、
×未達成0点(85%以下)として評価。
全18点中14点以上(8割以上)で基準値合格としています。

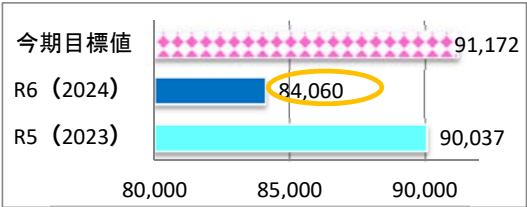
総合評価点	
(14点以上で合格)	
	16点 合格

環境経営目標【中期目標】の評価(令和6年1月～令和6年12月)及び結果・
環境経営活動計画の取組結果、及び 次年度活動計画表

※今年の数値(青)と基準年(赤)及び前年(水色)との比較※

※ 目標値達成100% 😊 ※ 85～99% 😐 ※ 85%未満 ☹️

【1】 二酸化炭素の排出量(電力・ガソリン・軽油・灯油より算出)



各年度実績 単位=kg-CO2

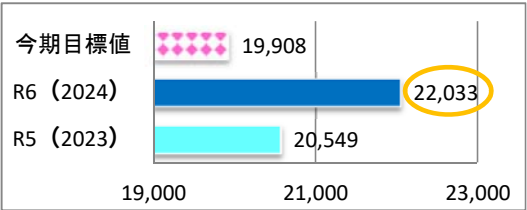
年度	R5(2023)	R6(2024)	今期目標値
排出量	90,037	84,060	91,172

(評価及び次年度の取組)

今回は全体を通し、目標達成率108%排出量を削減することができました。しかし毎年電力数値を下げるできない状況が続いております。
今後とも社員を省エネを意識しながら可能なことから削減できるよう引き続き取り組んで行きます。

※目標達成※ 😊

★電力消費量★(事務所)



各年度実績 単位=kWh

年度	R5(2023)	R6(2024)	今期目標値
消費量	20,549	22,033	19,908

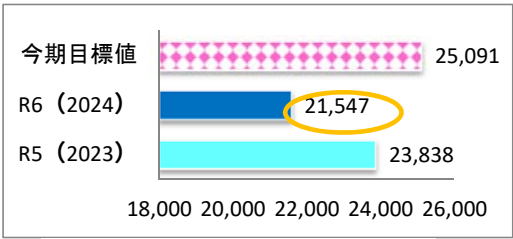
(評価及び次年度の取組)

日常のこまめな消灯や、プリンターやパソコンの省エネモード等の意識は自然とできます。
しかし昨年は例年よりも雨が多く猛暑も続きデスクワークが増えたことで消費量が増加し目標達成率90%となりました。
次年度は目標達成できるように努めます。

90%
目標値まであとわずか 😐

【1-1】電力消費量の削減【事務所】			
主な実施活動行動	頻度	評価	今後の方針
1. 昼休み、不在時の消灯	毎日	○	継続
2. 長時間不使用時のPC、モニター電源を落とす	毎日	○	継続
3. 冷暖房温度室温の設定。夏27℃ 冬20℃	適時	○	継続
4. エアコンフィルターの掃除	2ヶ月に1回 (使用期間のみ)	○	継続
5. クールビス、ウォームビスの実践	適時	○	継続
6. 冬季以外の給湯の停止	適時	○	継続
7. カーテンやパーテーションなどで空間を仕切る	将来	○	継続
8. ブラインドを活用し、遮光する	適時	○	継続
9. 扇風機の活用	適時	○	継続
10. 中間期での外気の取り入れ	適時	○	継続
11. キャンプブスイッチ(照明器具に紐をつけ点灯)の使用	適時	○	継続
12. 社内にて節電を促すポスターの掲示	実施	○	継続

★ガソリン消費量★(工事部)



各年度実績

単位=ℓ

年度	R5(2023)	R6(2024)	今期目標値
消費量	23,838	21,547	25,091

(評価及び次年度の取組)

今回から消費量を記載しておりますが、前回より大幅に数値が減少致しました。

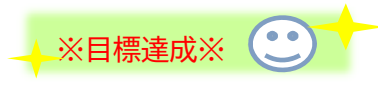
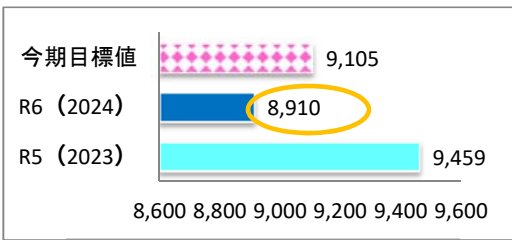
現場への距離やEV車両へのシフトなどが影響した結果だと思います。

次年度も目標達成できるよう各自エコドライブに励みます。

【1-2】ガソリン消費量の削減【工事部】

主な実施活動行動	頻度	評価	今後の方針
1. 各自車両の点検(タイヤ空気圧等)	隔週月曜	○	継続
2. 社有車管理アプリを活用した車両稼働状況の把握向上と記録用紙の削減	使用時	○	継続
3. 車両管理表アプリの記入徹底による燃費管理	月1回	○	継続

★軽油消費量★【工事部】



各年度実績

単位=ℓ

年度	R5(2023)	R6(2024)	今期目標値
消費量	9,459	8,910	9,105

(評価及び次年度の取組)

今回からガソリン消費量同様に軽油も消費量を記載しておりますが、前回より大幅に数値が減少致しました。

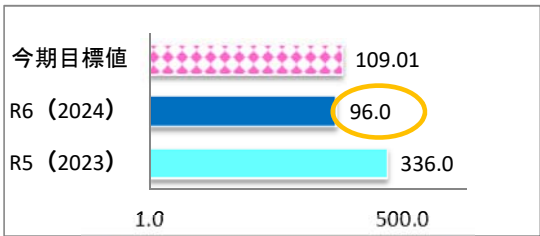
ガソリン消費量と同じく現場への距離やEV車両へのシフトなどが影響した結果だと思います。

次年度も目標達成できるよう各自エコドライブに励みます。

【1-3】軽油消費量の削減【工事部】

主な実施活動行動	頻度	評価	今後の方針
1. 点検(タイヤの空気圧など)	隔週月曜	○	継続
2. エコドライブの励行	使用時	○	継続
3. 燃費のチェック	月1回	○	継続

★灯油消費量★【工事部】



各年度実績

単位=ℓ

年度	R5(2023)	R6(2024)	今期目標値
消費量	336.0	96.0	109.01

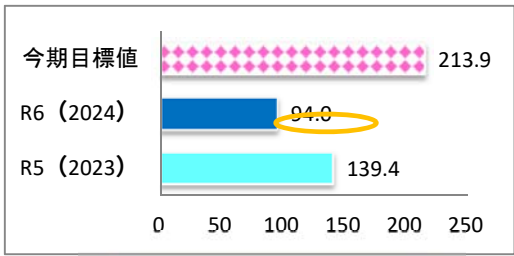
(評価及び次年度の取組)

灯油は現場事務所での灯油ストーブに用いられますが、

昨年は前年に比べ寒冷地の現場がなかったことにより消費量が減少し目標を達成することが出来ました。

次年度以降も継続できるよう努めます。

【2】 廃棄物排出量(全部門)



※目標達成※

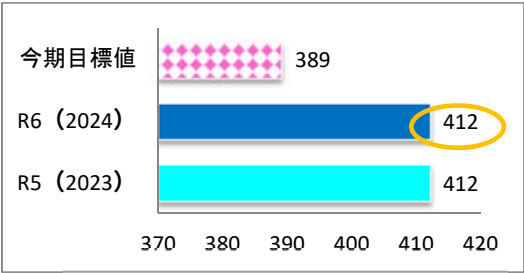
各年度実績 単位=t

年度	R5(2023)	R6(2024)	今期目標値
排出量	139.4	94.0	213.9

(評価及び次年度の取組)
今年は産廃が大幅に少なく目標達成ことができました。
工事により変動する数値ですが例年のほぼ半分の数値に下がり目標値達成できたことは今後の産廃方法の指針になるのではないかと思います。
次年度も目標達成できるよう励みます。

【2】 廃棄物排出量の削減【全部門】			
主な実施活動行動	頻度	評価	今後の方針
1. 在庫の管理 【全部門】	年1回	○	継続
2. 使い捨て製品の購入の抑制 【全部門】	適時	○	継続
3. 現場で発生した廃棄物のリサイクル 【全部門】	適時	○	継続
4. 書き損じ紙の裏面利用 【事務部門】	適時	○	継続

【3】水使用量(全部門)



94%
目標値まであとわずか

各年度実績 単位=m3

年度	R5(2023)	R6(2024)	今期目標値
使用量	412	412	389

(評価及び次年度の取組)
年間として使用量が多く目標値以上となりました。
水使用は主に事務所の給湯およびトイレ使用が大半を占めています。
今後も社員一同意識して水の節水に努めるよう心がけます。

【3】 水の使用量【全部門】			
主な実施活動行動	頻度	評価	今後の方針
1. 蛇口を大きく開かない 【全部門】	毎日	○	継続
2. 手洗い後、蛇口をきちっと閉める 【全部門】	毎日	○	継続
3. 洗車時はJETを使用する 【工事部】	適時	○	継続
4. 節水を促すポスターを掲示する 【事務部門】	実施	○	継続

【4】 カーボンニュートラル実現(電気自動車へのシフト)

以前より社用車の大半がガソリン車を占めており経営上も燃料費増加で昨今課題となっております。
その対策のひとつとして昨年より、徐々にEV車両にシフトしCO2排出量が昨年よりも減少致しました。
またEVの運用はエネルギー自給率の向上に貢献、かつ燃料費の削減やメンテナンスコストの低減、更に長期的なコスト削減と経済的なメリットもあることから、今回より本格的に環境経営目標のひとつと致しまし

【4】 カーボンニュートラル実現(電気自動車へのシフト)【工事部】			
主な実施活動行動	頻度	評価	今後の方針
1. エコカーの導入、段階的なEV化移行	適時	○	継続

今回は新たに2台EV車を導入



【5】社会貢献活動

【5】社会貢献活動【全部門】

主な実施活動行動	頻度	評価	今後の方針
1. 地域ボランティア活動への参加(清掃活動・挨拶運動)	毎週金曜 (近隣の清掃)	○	継続

年間を通して会社周辺の清掃活動を週一回行っています。

また、現場ごとで奉仕活動として交通安全パトロールや道路脇の清掃も行っています。

昨年は支援学校の改修工事の際に学校行事の餅つきに参加したり、壊れた花壇の修復をして花を植え学生との交流も行うことができました。



活動実績

健康経営事務所の認定

年に一度の健康診断はもとより、日頃の運動不足解消を考慮し、いつでも従業員とその家族が地域のスポーツ施設を無料で利用できる年間契約を結びました。

また、無料貸出し用の骨密度測定器のレンタル等も行いました。

様々な活動の結果、大分県より令和6年度健康経営事務所認定証をいただきました。



各種資格取得者等の表彰



おめでとうございます!!

年度初めに行われる安全大会にて、恒例の令和6年度 資格取得者表彰、優良工事監督者表彰及び永年30年勤続表彰が行われ、多数の職員が表彰されました。

ドローンの活用



高所作業の多い電気設備部では昨年ドローン講習を受講しました。今後は電柱や危険箇所での撮影等に活用できればと考えています。(写真は工事作業中の上空撮影)

また撮影用にレンタルしていた高所作業をドローンに変更することで迅速な対応ができ経費削減にも繋がるのではないかと期待しています。



若手社員の育成

実際の現場にて若年者の技術向上を図る為、墨だし等の実践教育を行いました。



安全教育の実施

建設業労働災害防止協会に依頼し、弊社他工事と合同で「建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育」を実施しました。



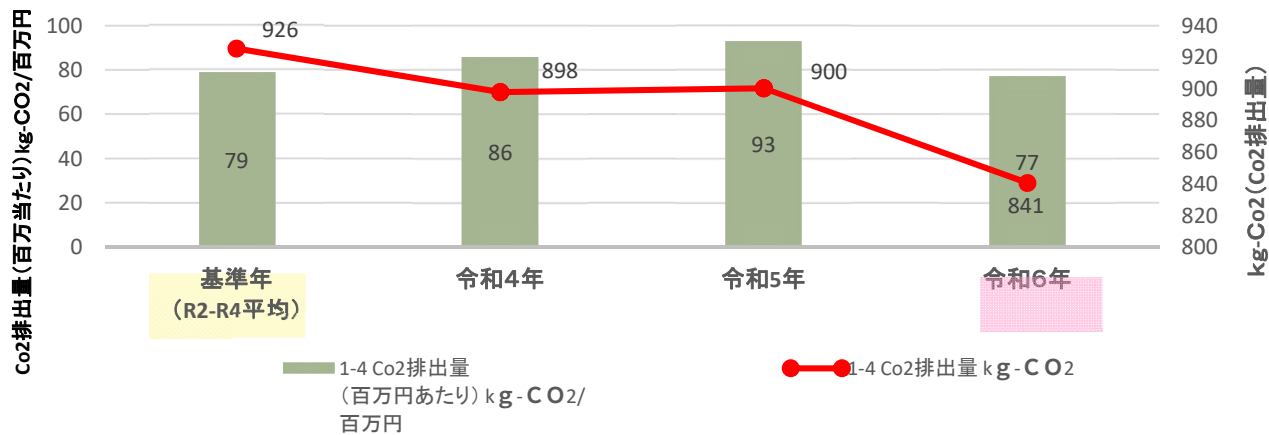
売上高百万円あたりの原単価の推移

【対象期間は、前年1年間(R6年1月～12月)】

環境方針の番号	選択課題	対象	基準値 (R2-R4の 売上高平均) 1,172百万円		R6年 (R5売上高) 1,090百万円
1	二酸化炭素排出量	全体	79 kg-CO2/百万円	→	77 kg-CO2/百万円
1-1	電力消費量	事務所	17 kWh/百万円	→	20 kWh/百万円
1-2	ガソリン燃費	現場	22 リットル/百万円	→	20 リットル/百万円
1-3	軽油燃費	現場	7.9 リットル/百万円	→	8.3 リットル/百万円
1-4	灯油燃費	現場	0.094 リットル/百万円	→	0.088 リットル/百万円

Co2排出量の実績推移（令和4年～令和6年）

項目	原単価	基準年 (R2-R4平均)	令和4年	令和5年	令和6年
売上高	百万円	1,172	1,046	968	1,090
Co2排出量	kg-CO2	92,560	89,806	90,037	84,061
Co2排出量 (百万円あたり)	kg-CO2/ 百万円	79	86	93	77



※ 売上高百万円あたりのCo2排出量の実績推移を過去3年分と比較した結果、前年及び基準年よりも目標を達成する事が出来ました。

特に今年はCo2排出量がここ数年で一番少なく、売上高も前年よりも好調で環境に配慮した結果となりました。

カーボンプライシング（エネルギーコスト）

- ★電気は九州電力の2024年1月時点での1kwh当たりの単価(20.89円)です。
- ★各燃料費は2024年1月時点での単価です。

項目	原単価	基準年 (R2-R4平均)			令和6年		
電気	Kwh	20,212	単価20.89円	¥422,222	22033	単価20.9円	¥460,269
ガソリン	L	25,473	単価181.5円	¥4,623,389	21,635	単価182円	¥3,926,812
軽油	L	9,244	単価158.9円	¥1,468,829	9,089	単価159円	¥1,444,201
灯油	L	110.7	単価120.2円	¥13,303	96.04	単価120円	¥11,544
		計	¥6,527,742		計	¥5,842,827	
		¥6,527,742	-	¥5,842,827	=	概算:	¥684,916

※基準年(3年間の平均値)に比べco2削減により約 68万円の節約となりました。

【 …例えば令和6年のエネルギーコストを更に来年2%削減した場合 】

項目	原単価	2%削減した場合					
電気	Kwh	21,592	単価20.89円	¥451,064			
ガソリン	L	21,203	単価181.5円	¥3,848,276			
軽油	L	8,907	単価158.9円	¥1,415,317			
灯油	L	94.12	単価120.2円	¥11,313			
		計	¥5,725,970		概算:		
		¥5,842,827	-	¥5,725,970	=	¥116,857	
		(令和6年エネルギーコスト計)	(令和6年のさらに2%減)		の節約となります。		

令和6年と全く同じ状況になることはありませんが…
エネルギーコストを違ったカタチで見える化することで昨年よりもより明確な目標ができ
更に従業員全体のエコ活動意識向上につながればと思います。

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規制等への違反はありません。外部からの苦情もなく
また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません

評 価 日:2025年5月12日

評 価 者: 環境管理責任者

適当とされる主な法規制	適用される項目	評価
■ 浄化槽法	☐ 浄化槽の処理後でなければ公共用水域に排水禁止	○
■ フロン排出抑制法	☐ 特定製品のフロン放出禁止	○
■ 産棄物処理法	☐ 委託契約、許可書の確認、マニフェストの保管義務	○
■ 自動車リサイクル法	☐ 社用車は、なるべく長期間利用。新車購入時はリサイクル費用を支払う	○
■ 家電リサイクル法	☐ エアコン等家電リサイクルによる再資源化の促進	○
■ 地球温暖化対策推進法	☐ 温室効果ガスの排出抑制に努める	○
■ 道路交通法	☐ 申請時に道路使用許可・占用許可の書類を届出	○
■ 電気事業法	☐ 電気工作物を経済産業省令で定める技術基準に適合するように維持する電気事業を営もうとす者は経済産業大臣の許可を受けなければならない	○
■ 建設リサイクル法	☐ 建設工事に係る資源の再資源化	○

全体の評価と見直し記録

会社名	株式会社 山村電設工業	
見直し実施日	2025年 5月 12日	
出席者	代表取締役	山村 清 隆
	環境管理責任者	営業・総務・設備担当課長
	事務局	総務 事務担当

全体の評価と見直し記録

No.	評価事項	評価結果及び変更の必要性の有無等
1	環境経営法規制の遵守状況	問題なし、継続する
2	環境経営目標の達成状況	問題なし、継続する
3	環境経営活動計画の実施状況	問題なし、継続する
4	問題点の是正、予防の状況	問題なし、継続する
5	外部からの環境に関する苦情や要望	問題なし
6	緊急訓練の結果及び対応策結果	問題なし
7	その他	問題なし

見直しの必要性についての判断と代表者の指示

判 断	
1.環境経営方針	継続する
2.環境経営目標	継続する
3.環境経営活動計画	継続する
4.実施体制の見直し	継続する
5.環境経営システム	継続する
6.その他の指示	特になし

代表者による総評

本年度は、EA21に取り組み始めて8年目を迎えることとなりました。

開始初年度と比較し、社員の環境経営活動への参加も積極的となり、会社内でも根付いてきていると感じております。

本年は受注工事の内容により産業廃棄物の排出量が前年度と対比し大きく削減することができました。

しかしながら天候等の理由により電気使用量については基準年度と比較し少し使用量が増えることとなりました。

この目標値に対して達成できなかった部分については社内で情報を共有し、なぜ未達となってしまったか、よく検証して次年度改善するための材料としていきたいと考えます。

また今年度のはかねてより計画しておりました社用車のEV車の導入が実現し、3台の車両を導入することができました。

導入して日は浅いのでこれから使用を重ねてよりよい使用方法を模索し、さらに導入台数を増やせればと思っております。

ここ数年の物価の急激な上昇による建設資材の高騰により、弊社を含め建築業界に大きな影響があります。

この状況下において、エコアクションによる環境経営活動によるコスト削減がいかに大切であるかを感じております。

本年は昭和100年の節目の年となります。高度成長期に多く建設された社会インフラは老朽化し、寿命を迎えつつあります。

この多くの社会インフラを再整備するためには人材不足が喫緊の課題であると考えます。

その中で弊社も地域の社会インフラを守り、安全安心の街づくりの一端を担えるよう、人材育成により全力で取り組み

一人でも多くの技術者を育て、人材を人財にとの思いで邁進してまいります。

環境最高責任者(代表取締役) 山村 清隆

安全第一

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

会社としてできる SDGs



2024年 環境経営レポートの公表

環境経営レポートの発行日： 2025年5月15日 発行

当社 所在地： 株式会社 山村電設工業

大分県豊後大野市三重町内田3205番地1

電話番号： 0974-22-0214

FAX： 0974-22-3917